子ども教育立国　　おやこワークショップ

おとなも子どもも絵本となかよし
-絵本のさまざまなミカタ-

かつどうほうこくしょ
活動報告書

主催：子ども未来塾
助成：子どもゆめ基金
協力：グロースリンクかちどき　子ども教育立国

2月22日(日)、3月1日(日)
@グロースリンクかちどき(勝どき)

3月8日（日）
@Sodacco(代官山)

プログラム
1、ムナーリの本に触れる　ムナーリの本の表現に触れる、楽しむ
2、ムナーリの表現を知る　ムナーリの表現手法を知った上で、自ら表現する。
3、絵本を作成する　自由に自分の絵本をつくる

作品をおやこで読み聞かせ、子どもの絵本に関する感想をおやこで共有することで、大人が絵本に対する捉え方を変え、子どもと絵本の関係性を捉え直すきかっけとするワークショップです。

ブルーノ・ムナーリってどんな人？

BRUNO MUNARI

ブルーノ・ムナーリ（1907-98）は、視覚的な要素が人間にとって重要なコミュニケーションのツールであると考えました。グラフィックデザインの仕事に従事しながら、1920年代後半より未来派に参加し、絵画や彫刻を制作、発表しました。また、子どもの創造力を刺激するしかけ絵本シリーズ、玩具のデザインなど、既成概念にとらわれない発想によりさまざまな作品を生み出しました。ムナーリの絵本作品は、子どもが遊んで楽めると共に、多様なイメージ表現から物語を想起させ、絵本の楽しみ方に新たな気づきを与えます。ムナーリは優れたデザイナーであると同時に、偉大な教育者でもあります。

絶版となっている貴重な絵本を含め、たくさんのムナーリの絵本が大集合

岩崎先生より、ムナーリのデザインについてワークショップを通じて実践的に学びます！

■講師プロフィール
岩崎 清　（いわさききよし）
1939年生まれ。1985年に勤務先の「こどもの城」の開館記念の特別事業として「ブルーノ・ムナーリ展」を企画開催。2004年からギャラリーTOMの副館長として視覚障害者の芸術体験を促す企画展示をおこなう。触察本『手で見る北斎』（2012年）の制作など、様々な分野で活躍。日本ブルーノ・ムナーリ協会代表、ギャラリーTOM副館長、NPO視覚障害者芸術活動推進委員会理事長。

絵を組み合わせて自分で物語をつくる絵本に夢中！ぞくぞくと物語が展開していきます…

子どもたちにはまずはたっぷりムナーリの作品を読み聞かせ

大人は文字のない視覚的な絵本の制作にチャレンジします

絵の関連性のあるなしに関わらず組み合わせは無限∞

物語は続くよどこまでも

うらページにつづく